

令和元年 11月13日(水) 第5校時

四万十市立中筋中学校

第1学年 生徒数9名

指導者 グダーニ 藍

【学習指導要領 領域別目標】

話すこと【やり取り】

イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。

【CAN-DO リスト形式の学習到達目標】

話すこと【やり取り】

イ) 興味・関心のあることや日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、その内容についての質問に答えたりすることができる。(1分程度)

1. 単元名 Program 8 Origami (表現活動でのつながり : Program 7、POWER-UP 5 Speaking)

2. 単元について

(1) 単元観

本単元の最終表現活動は「新しいALTに四万十市の魅力を伝え、ここでの生活を楽しんでもらおう。」と設定し、評価は地域紹介のパフォーマンステストで行う。また、この表現活動に向かい、Program 7、Power-up 5、Program 8 をまとめて取り扱う。Program 7 はシャチの生態等について取り扱い、Power-up 5 では持ち主を尋ねるスキットが組まれている。Program 8 では大介やウッド先生が折り紙について会話を繰り広げる。この3つの program を通して疑問詞 Who, When, Which, Whose, How と多くの疑問詞が出てきており、既習事項と合わせると、1単語で用いることのできる基本的な疑問詞を全て学習することとなる。そのことで、やりとりの質問の幅を広げ、その力を鍛えることができると考え、やりとりの言語活動に活かすことができると考える。また Program 8 の新出言語材料 can も同様に、最終活動である地域紹介に有効に活用できると考える。

(2) 生徒観

本校の生徒は男子6名、女子3名の計9名である。1学期末のアンケートで Small talk が好きだと回答した生徒が多く、話すことの表現活動や、表現の幅を広げる活動に意欲的である。現在までのスピーチのパフォーマンステストでは「自己紹介」では55%が、「他者紹介」では、77.7%の生徒がA評価である。2学期中間テストの結果より、書くことの表現活動では77.7%がA評価である。しかし2名支援を要する生徒がおり、書く活動ではC評価が多い。そのため、この2名に関してはペア活動などで意図的に教員と組む場を持つようにし、エラーチェックと支援の両方を行っていく必要がある。

生徒にとって本単元で初めて「やり取り」の力を目標に据えた活動を行う。しかし、生徒は Small

Talk を通してスピーチの後に質問を受ける活動を行ってきており、“Do you have any questions?” “Are you ~?” “Do you ~?” などの表現が身に付いてきている。しかし、疑問詞を用いた質問をできる生徒はまだ少ない。

(3) 指導観

前述したように、本単元の最終表現活動は「新しい ALT に四万十市の魅力を伝え、ここでの生活を楽しんでもらおう。」である。ここでは、英語の見方・考え方より、「四万十市のことを知らない新しい ALT に魅力や楽しんでもらうための情報を伝えるにはどのような内容を、どのように伝えるべきか」という内容、構成についての考えの再構築と「日本語が分からない相手にそれらを伝えるために必要な表現とはどのようなものか」という、英語での表現力に焦点を絞り、最後の表現活動に向かい言語活動を仕組んでいく。

今回は、Program 7、Power-up 5、Program 8 を 1 つの単元としているため、Program 7 の第 1 時では四万十市に新しい ALT が来たことを伝え、知らない土地で生活することの大変さから、その人達の力になるために、自分たちが知っている情報を伝える表現活動を行うということを共有した。また、スピーチではなくやり取りを継続するために質問する力も必要であるということを実体験し、本単位ではどのような力を身につける必要があるのかも含めて見通しを持たせている。

帯活動の Small talk では、前単元の Program 6 で学んだ、英語で質問しそれに答える活動を仕組み、本単元でも Do you have any questions? からいくつかの質問をするという流れも続けていきたい。しかし、本単元ではやり取りということに焦点を絞るため Small talk でもスピーチ後の質問ではなく、会話という形に移行していく。また、その中で今まで課題のあった疑問詞を使った質問を取り入れるようにしていく。

最終の表現活動に向けての言語活動として Small task を行っていく。トピックは「海外の名所を紹介する」とし、場所を変えながら地域紹介に必要な表現などを身につけていく。Small task の中で、紹介者が Have you ever~? や Did you~? などの質問をすることで相手の状況を知り、それを踏まえて会話を広げられることに気付かせる。そのため、How much など既習ではない様々な質問の方法も生徒とのやり取りの中で unclear words として出てるようであれば、必要に応じて導入していく。また、相手からの質問を書きためていくことで、相手がどのような情報を知りたいのかに気付かせ、紹介に追加させていく。ALT が来校する時には ALT の視点からの質問をしてもらい更に追加していく。このように、生徒間での気づきから、自分の伝える内容を再構築していき、やり取りの力、また、それに必要な質問する力も共に育成していく。

3. 単元の目標

- 新しい ALT に四万十市でできる事や楽しみ方などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりする。
- 新しい ALT に四万十市でできる事や楽しみ方などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習の語句や文を用いて工夫してやりとりを継続しようとする。
- 助動詞 **can** や疑問詞 **How** を用いた文の構造を理解する。

4. 単元の評価規準

ア.コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ.外国語表現の能力	ウ.外国語理解の能力	エ.言語や文化についての知識・理解
新しい ALT に四万十市でできる事や楽しみ方などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習の語句や文を用いて工夫してやりとりを継続しようとしている。	新しい ALT に四万十市でできる事や楽しみ方などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりできる。	/	① 助動詞 can を用いた文の構造を理解している。 ② 疑問詞 How を用いた文の構造を理解している。

5. 単元の指導と評価の計画 (Program7~Program8 全 17 時間 Program8 全時間のみ記載)

時数	学習内容	総括的評価 (形成的評価)					
		関	表	理	知	評価規準	評価方法
1	☆単元ゴールを再度確認する。 ○日本を楽しんでもらうために東京で出来ることを伝える。 ・ can (肯定文、疑問文、否定文) の文構造を知る。 ・ 疑問詞の復習 ・ 東京で出来ることを含めた紹介をする。(口頭) ・ 東京の紹介文を書く。				○	エ① (助動詞 can を用いた文を正しい語順で言ったり書いたりできている。)	後日 定期テスト (観察・ノート点検)
2	○本文の情報を元に大介を紹介する。 ・ can の復習 ・ New words ・ 本文要点理解 ・ 大介についてスピーチ①② ・ 大介についてスピーチを書く。				○	エ① (大介について助動詞 can を用いて正しい語順で紹介したり書いたりできている。)	後日 定期テスト (観察・ノート点検)

3	<p>○指定された場所で出来ることなど、より詳しい情報でやり取りする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ New Words ・ 疑問詞の復習 ・ Small Task① (海外の名所) ・ unclear words and share ・ Small Task② ・ 名所について紹介文を書く。 <p>This is Mexico. Do you know Mexico? It is a capital city. Where is it ? It is in Mexico in North America. What is famous? Delicious food is famous. What can I eat? For example, you can eat ~.</p>	○	○		<p>ア (指定された場所の楽しみ方などについて、マッピングを用いながら事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習の語句や文を用いて工夫してやり取りを継続しようとしている。)</p> <p>イ (指定された場所の楽しみ方などについて、マッピングを用いながら事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習の語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりできる。)</p>	後日 パフォーマンステスト (観察・ノート点検)
4	<p>○方法を尋ねてより詳しい情報を得る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ How を用いた文の構造を知る ・ 日本で有名なものとその楽しみ方についてやり取りをする。 － How/Where/ When can we enjoy/ do/ try it ? ・ ノートにまとめる。 ・ やり取りをノートに書く。 				○ エ② (疑問詞 How を用いた文を正しい語順で言ったり書いたりできている。)	後日 定期テスト (観察・ノート点検)
5	<p>○本文の情報を元に Ms.Wood と大介をまとめて紹介する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文 (Pro8-2,3) 要点理解 ・ 紹介① (個→グ→全) ・ unclear words and share ・ 紹介② ・ 紹介文を書く。 				○ エ① (Ms. Wood と大介について can 用いて正しい語順で紹介したり書いたりできている。)	後日 定期テスト (観察・ノート点検)
6 本	○指定された場所の魅力を伝えられるように情報を加えやり取りす	○	○		ア (指定された場所の	後日パフォーマンステスト

帯活動 Small Talk 「他者紹介 Quiz」

時	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ New words ・ 疑問詞の復習 ・ Small task① (海外の名所) ・ unclear words and share <p>* 魅力を伝えるための情報表現、構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Small task② ・ やり取りを書く。 	<p style="text-align: center;">帯活動 Small Talk 「他者紹介 Quiz」</p>			<p>楽しみ方などについて、マッピングを用いながら事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習の語句や文を用いて工夫してやり取りを継続しようとしている。)イ</p> <p>(指定された場所の楽しみ方などについて、マッピングを用いながら事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習の語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりできる。)</p>	(観察・ノート点検)
7	<p>○四万十市の魅力を確認し、ペアで伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ mapping ・ Small task① (四万十市) ・ unclear words and share ・ Small task② <p>・ 紹介文、やり取りをノートに書く</p>		○	○		<p>ア</p> <p>(新しいALTに四万十市でできる事や楽しみ方などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習の語句や文を用いて工夫してやり取りを継続しようとしている。)</p> <p>イ</p> <p>(新しいALTに四万十市でできる事や楽しみ方などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりできる。)</p>

8	<p>パフォーマンステスト</p> <p>【新しいALTに四万十市の魅力を伝え、ここでの生活を楽しんでもらおう。】(40秒程度のやりとり)</p>	○	○		<p>ア 新しいALTに四万十市でできる事や楽しみ方などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習の語句や文を用いて工夫してやりとりを継続しようとしている。</p> <p>イ 新しいALTに四万十市でできる事や楽しみ方などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりできる。</p>	
---	---	---	---	--	---	--

6. 本時の指導

(1) 本時の目標 指定された場所の魅力を伝えられるように情報を加えやり取りする。

(2) 観点別評価規準

- ・指定された場所の楽しみ方などについて、マッピングを用いながら事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習の語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりできる。
- ・指定された場所の楽しみ方などについて、マッピングを用いながら事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習の語句や文を用いて工夫してやり取りを継続しようとしている。

(3) 準備物

- ・電子黒板
- ・パワーポイント
- ・Small talk 用 picture cards
- ・Small task 用 picture cards

(4) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価基準 (言語活動)
導入	1 Greeting (How is the temperature?)	・気温等の単語の導入をする。	

1 0 分	<p>2 Small talk “Who is this?” (30 sec think, 2min talk in groups)</p> <p>—first try —Unclear words —second try →ノートに会話内容を書く。</p>	<p>・前時までの既習事項に慣れさせる。 ・疑問詞の活用に慣れさせる。 エラーチェックを行い、文構造を定着させていく。</p>	
展 開 2 5 分	<p>T: Where is this? I'll give you some hints. S: Melbourne. T: Do you want to go? If you can go to Melbourne, what information do you want to know? S: Famous, popular, delicious things What can we do? T: Let's tell about these things today.</p>	<p>・STを活用し、生徒にめあてを考えさせる。 ・魅力、情報、やり取りという重点項目を入れさせる。</p>	
<p>Today's Aim ・ To tell attractive things in Toronto. To keep interesting conversation</p>			
<p>Today's Goal その場所の魅力を伝えられるように情報を加えてやり取りしよう。</p>			
	<p>1. I'll show you some information. 3 Small task① メルボルンについてグループで紹介し合う。 —マッピング (1min) —Group (1min×3) —Unclear words —良かった表現や工夫等を共有する。</p>	<p>・写真を見せて情報を共有する。 ・エラーチェックでは語順シートを活用して正確な語順を定着させる。</p>	
<p>This is Melbourne. Do you know this city well? It is a big city. Where is it? It is in Australia. We have rivers, MCG stadium and Luna park. You can enjoy sports at MCG. What is famous in Melbourne? Art street is famous. It is wonderful. What can we do there? You can see a lot of pictures.</p>			
	<p>T: Is it finished? S: Yes. T: It's a little strange. What should we do? Do you have any idea?</p>	<p>・紹介の最後にどのような表現があれば良い</p>	<p>指定された場所の楽しみ方などについて、マッピングを用いながら事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習の語句や文を用いて工夫してやり取りを継続しようとしている。 イ 指定された場所の楽しみ方などについて、マッピングを用いながら事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習の語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりできる。</p>

	<p>T : Do you like art? S : No. T : Is it a good introduction? What should we do? S : We need ask questions.</p> <p>4 Small task② メルボルンについてグループで紹介し合う。 - マッピング (1min) 加筆 - Group (1min×3) - Unclear words - 良かった表現や工夫等を共有する。</p>	<p>か考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紹介者から質問することの重要性に気付かせる。 ・ 支援が必要な生徒を中心に机間指導する。 	<p>【後日パフォーマンステスト】 (事実・情報を伝える) (自分の考えを伝える) <観察・ノート点検></p>
<p>ま と め 1 5 分</p>	<p>5 conclusion その場所の魅力を伝えるためのポイントを出し合い確認する。 ・ できること ・ 自分の思いや考え ・ オススメ ・ 具体的な情報 ・ 詳細 ・ 相手の情報をもとに紹介する。 < So, for example, the best, if, I think... > 6 reflection conclusion を元に最後の紹介を再構築して書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ reflection には生徒が考えた気づき (conclusion) をもとに再構築させた内容を書かせる。 ・ 支援が必要な生徒を中心に机間指導。 	

This is Melbourne. Do you know this city well? It is a big city.

Where is it? It is in Australia.

We have rivers, MCG stadium and Luna park.

You can enjoy sports at MCG.

What is famous in Melbourne? Do you like art?

Yes. Art street is famous.

What can we do there?

You can see a lot of pictures.

Do you like sweets? Yes.

You can eat delicious food at cafe. For example, you can eat ~.

その他でそうな表現

You like ~, right? So, ~. If you go to ~, ~.

When is the best season? Which do you recommend?

How much is it? What is it? How big?

(5) 板書計画

Final Goal	First try Do you know this city well? It is a big city. It is in Australia. We have rivers, MCG stadium and Luna park. You can enjoy sports at MCG. Art street is famous. It is wonderful. You can see a lot of pictures. What is famous in Melbourne? What can we do there? Where is it ?	Second try I think ~ is good. If you like ~, please try ~. Do you like ~? You like ~, right? So ~. When is the best season? Which do you recommend? How big?	日付等
Goal			
語順カード		Conclusion その場所の魅力を伝えるためには ・できること ・自分の思いや考え ・オススメ ・具体的な情報 ・詳細 ・相手の情報を元に紹介する。	Unclear words
	Reflection +add		